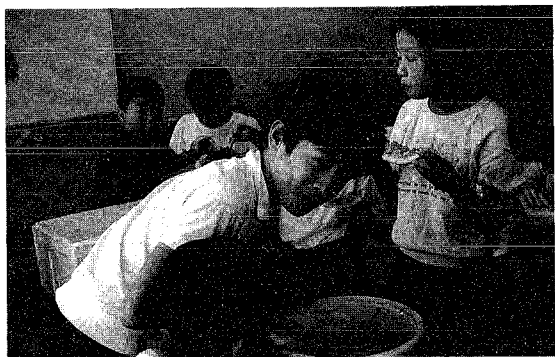


▲やったね!!地蔵様マップの出来上がりだ〜い。

フランドロわんぱく隊 地蔵様の目って やさしいね

生涯学習の一環として、青少年教育「フランドロわんぱく隊」が八月七日から五回シリーズで行われました。参加者は男子九人、女子三人の元気いっばいのわんぱく達の活動を紹介します。八月七日に農村環境改善センターで開講式を行い、六人ずつの二班に分かれて団結旗を作り、この活動の課題である「村内には何体の地蔵様が、どの地域にあるのかをイラストマップにしてみよう」の調査に出發しました。一班は、渡辺達美君、二班は細海敏也君をリーダーに、目を輝やかせるがら村内を歩き回りました。

月瀾村の自然や文化財にふれ、村の良さを再認識しようです。また、地域の人が地蔵様にお花を供えたり、掃除をしている姿に子供たちは感動していました。さらに、地域の人から地蔵様のいわれや、場所などを親切に教えていただき、人とのふれあいの大切さを体験させていただきました。本当にありがたうございました。「村には地蔵様がたくさんあるんだね」と、子供たちの調べた数は十体ぐらいたったが、まだまだ多くの地蔵様があるのではないかと考えられます。調査を終了して、地蔵様マップ、ラウンドゴルフ、を行い、最後に閉講式で終了書をもらい受け、夏休みのいい思い出となつたと声をそろえていました。今後いろいろな歴史や文化財を調べたいと思います。村の歴史や文化財を調べ、村の「豆博士」を目指していきたいと思っております。ご協力いただいたみなさまに心から感謝いたします。また、機会がありましたらよろしく願います。



故青柳良太郎氏に 叙位叙勲授与

故青柳良太郎氏は、生前、村長をはじめ数々の要職を歴任され、永年にわたり地方自治の振興に尽力された功績に對して、去る七月十日、従六位勲四等瑞宝章を受章されました。



真夏の村内を走りきった

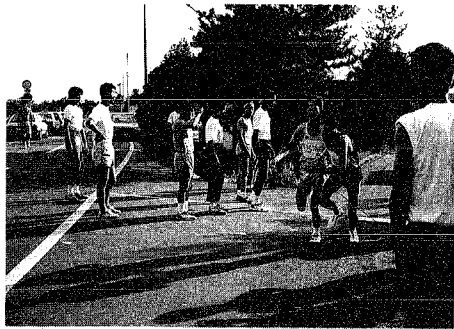
—第6回月瀾駅伝大会—

今年で第6回となった月瀾駅伝大会が、8月25日(日)に行われ、村内一周の14.8kmを1チーム6人で走り抜きました。参加チーム数は、村外11チームを含む合計25チームで競われ、各チームとも気持ちのいい汗をながしながら力走していました。

大会結果は、村内チームによる村長杯を月瀾ブルボン駅伝部Aが4連覇を達成、そのほかは下記のとおりです。

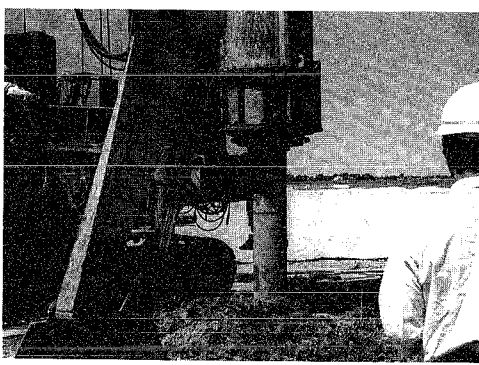
- 一般の部 (男子チーム)
 - 1位 白根マラソングラブ(3連覇) 50分12秒(大会新)
 - 2位 月瀾ブルボン駅伝部A 51分30秒
 - 3位 月瀾ランナーズA 54分12秒
- 一般の部 (女子チーム)
 - 1位 月瀾中学校女子チーム 1時間8分29秒
 - 2位 燕朝日走友会 1時間13分40秒
 - 3位 月瀾みんなで走ろう会 1時間17分6秒

みなさん、大変お疲れさまでした。
また、来年走りましょう!



来年9月の開校を目指し 中学校舎の建設に着手

月瀾中学校移転改築工事がこのほど、試験杭打ちを皮切りに本格的にスタートいたしました。この学校建設は、三か年間をかけて行われますが、第一期工事として、校舎棟(延べ四千五百八平方メートル)の建設に着手したものです。工事の開始は、七月二十三日に村長や工事関係者による起工式を行い、工事の早期完成と安全を祈願後、八月二十七日から二十九日までの三日間で試験杭を打ち込みました。施工業者は水倉・佐藤特定共同企業体です。これからの工事日程は、九月二十日ごろまでに基礎杭を終了、十二月中旬に一段部分のコンクリート打設を、翌年三月までに二階、三階と順次打設し、その後、内装、外装、仕上げに入り、七月末に完成の予定となっております。新しい校舎での授業は九月より開始できると待ち望まれています。工事の関係で、みなさまに大変ご迷惑をおかけすることと思いますが、みなさまのご協力をお願いします。計画の詳細は、平成三年四月発行の第二五七号をご参照ください。



▲試験杭の打ち込み工事

交通安全お願いします

「麦茶をどうぞ」

夏の交通事故防止運動

夏の交通事故防止運動中の8月9日、村では交通安全指導所をもうけ、帰宅途中のドライバーのみなさんに交通安全を呼びかけました。「安全運転お願いします」の声とともに、麦茶のバックをプレゼント、思いがけないプレゼントにドライバーのみなさんも難しい顔や嬉しそうなお顔をしていました。夏の運動も終了、今月9月21日から30日の間で「秋の全国交通安全運動」が始まります。みなさんも交通事故に十分注意して、楽しい秋のシーズンを満喫してください。



犬・ねこの正しい飼い方の基本って…?!

一般原則です

- ◆本能・習性及び生理を良く理解して飼う。
- ◆家族と同様の愛情をもって保護する。
- ◆人の生命・身体または財産に対する侵害を防ぎ、生活環境を害することのないよう責任をもって飼う。
- ◆終生飼う。

●犬やねこの好きな人ばかりがいるわけではありません。ほかの人に迷惑や危害を及ぼすことのないよう十分な心くばりと正しいしつけが必要。●ねこは放し飼いは避けられる場合が多く、飼いの気がつかないところで迷惑をかけていることがあります。また、汚物によるほかの人への迷惑を少なくするためには、子ねこのときから家の中のねこ専用トイレを使うようにしつけるのも一つの方法です。●集合住宅で犬やねこを飼う場合は、特にマナー・ルールを良く守りましょう。